

令和元年度地方教育行政功労者表彰 被表彰者一覧

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
よしい まさお 吉井 正雄	福井県教育委員会委員 (H23.10.13 ~ 現在) うち福井県教育委員会委員長 (H26.11.1 ~ H27.5.18)	<p>平成23年10月13日に福井県教育委員会委員に任命されて以来、今日に至るまで、二期七年余の永きにわたり委員を務め、教育に対する情熱や医師としての経験をもってその職務に精励した。その温厚な人柄と強い責任感は万人の認めるところであり、平成26年11月から平成27年5月までの間は教育委員長として、その重責を十分に果たした。</p> <p>同人が委員を務めたこの七年余の間は、地方教育行政を取り巻く環境が大きく変化した時代であった。同人においては、奥越特別支援学校や坂井高等学校、高志中学校の開校や高校入試制度の見直し、教育総合研究所の開所、福井しあわせ元気国体・障害大会の開催などに尽力した。また、いじめ防止基本方針の策定、福井きぼう応援奨学金の創設、福井県教育振興基本計画の策定など福井県の将来を担う子どもたちを育成するという強い信念のもと、福井県の教育振興に大きく貢献した。</p> <p>同人が委員長を務めた平成26年11月から平成27年5月までの間においては、第1回福井教育フォーラムの開催や、福井ふるさと文学館の開館などがあったが、同人の持ち前の積極性と責任感を生かし、本県教育の振興発展に寄与した。</p>

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
うめだ ゆきしげ 梅田 幸重	勝山市教育委員会教育長 (H22. 4. 1 ~ 現在)	<p>平成22年4月1日に勝山市教育委員会委員、同教育長に任命され、以来現在に至るまで、勝山市の学校教育・社会教育・文化の推進、スポーツの振興に総合的かつ具体的な指導力を発揮し、地域の教育力の向上と教育行政の推進に精力的に取り組んだ。</p> <p>学校教育においては、ユネスコスクールへの全小中学校加盟の下、環境教育、ESD（持続発展可能教育）など主体的・能動的に学習する教育を一層進め、グローバル社会で活躍するための自立する力、協働する力など多様な力の基礎が培われるよう努めた。また、その一環として、全国に先駆け国から強化地域に指定されている英語教育について、市内小・中・高で一体的・系統的に取り組む体制を整え、オールイングリッシュ授業など「話せる英語」を重視した教育を進めた。</p> <p>教育環境においては、少子化の進行に対応し、学校と幼稚園のあり方について幅広い協議・検討を進めてきた。</p> <p>社会教育においては、心豊かでたくましい「かつやまっ子」を育成するため、家庭も地域も行政も市民総ぐるみで「かつやまっ子応援プラン」の取組みを推進した。</p> <p>文化の振興においては、勝山市の観光拠点として大きな期待が寄せられる「史跡白山平泉寺旧境内」への来訪者増へ向けて、「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」とその周辺の充実に努めるとともに、福井県と福井市、勝山市で共同提案した平泉寺と一乗谷を主要な構成資産とする日本遺産の提案が令和元年5月、新たに認定された。また、国重要文化財旧木下家住宅の大規模修復を平成30年度中に完了し、貴重な文化財として後世に伝えるとともに、地域活性化に資する施設として活用を進めている。</p> <p>スポーツの振興においては、市民待望の新体育館をオープンさせ、平成30年の国民体育大会で勝山市にバドミントン競技・クレー射撃競技を誘致し、選手の強化育成、運営準備に取り組み、新体育館でバドミントン競技を開催するなど、地域スポーツの振興を進めた。</p>

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
しみず みなこ 清水 美那子	大野市教育委員会委員 (H19. 12. 22 ~ 現在)	<p>教育委員に就任以来、公正・公平な立場で広く市の教育行政の推進に寄与した。平成23年10月26日から平成30年7月9日までの6年8か月にかけては、教育委員長職務代理者として教育委員長を補佐し、教育委員会の円滑な議事運営に貢献した。</p> <p>急速に進展する人口減少、少子化に対応するため取り組んでいる小・中学校再編計画の検討に当たっては、社会奉仕団体で活動してきた経験を生かし、児童・生徒にとって最善の再編計画となるよう、新しい教育の在り方や学校像を提言した。</p> <p>令和元年6月に、福井県市町女性教育委員の会会長に就任し、創意工夫あふれる研修会や情報交換会を開催することで、女性教育委員の資質向上に努め、本県の教育・文化の充実向上に寄与している。</p>